



慶應義塾大学ビジネス・スクール

ある経営ゲームにおける戦略の立案： 設備投資のタイミングと生産量の決定

5

設問

10

- 1章には、ある経営ゲームの参加者に配布されたインストラクションが記述されている。参加者は企業または消費者に割り当てられ、1セッションは10期からなる。企業に割り当てられた参加者は各々が担当する企業の経営者として当該企業における設備投資のタイミングと商品の生産量を決定する。この経営ゲームにおいて、あなたはある企業の経営者となったと想定せよ。このとき、あなたはどのような戦略を立案するだろうか。本文をよく読み、要点を絞って回答せよ。企業の目的は10期間を通じての累積利益の最大化であるとする。（時間割引は行わない。） 15
- この経営ゲームが実際にプレイされた結果が Appendix 2, 3a, および, 3b にまとめられている。そのデータを用いて、2章に記述されている課題に取り組み、データセットは2つあり、前半と後半に分かれている。前半と後半で個別に分析せよ。データに入力ミスがあると思われる場合には、適宜、データを修正せよ。ただし、修正の論理的理由を明示せよ。また、各企業がとった行動の是非を検討せよ。設備投資のタイミング、商品の生産量の決定は適切なものであっただろうか。前半と後半のデータにおける共通点と相違点は何だろうか。それら諸点が生成される原因は何だろうか。 20
- 2.で行ったデータ解析の結果を踏まえて、1.で立案したあなたの戦略を見直すとしたら、それほどどのようなことが説明せよ。見直すべきことが見当たらないならば、その理由を述べよ。 25

本稿は、慶應義塾大学ビジネススクール（KBS）におけるクラス討議のため、渡邊直樹（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）によって作成された。その内容は筑波大学理工学群社会工学類において渡邊が担当した社会工学実習の実習内容の一部に基づいている。実習に参加した学生たちに感謝する。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 渡邊直樹（2017年12月作成、2021年12月補筆）